



あなたは

あなたらしく

これまでも、そしてこれからも

---

あなたらしく生きるまちづくりの会

# 様々な社会的背景

厚生労働省

2021年2月22日、「人口動態統計速報（2020）」を公表  
出生数が87万2,683人で過去最低に。

少子化社会では

- ①貴重な子どもが親の依存対象になりやすく、育児ノイローゼや児童虐待が起きやすい
- ②親が子どもの気持ちを理解しようとせず、逆に親の葛藤が子どもに向けられやすい
- ③家庭内にビジネス原理が持ち込まれ、子どもの心が緊張しやすくなる
- ④核家族化のため基本的に家族構成が確立しにくく、子どもの成長に伴う変化によって親の葛藤が再燃しやすくなる

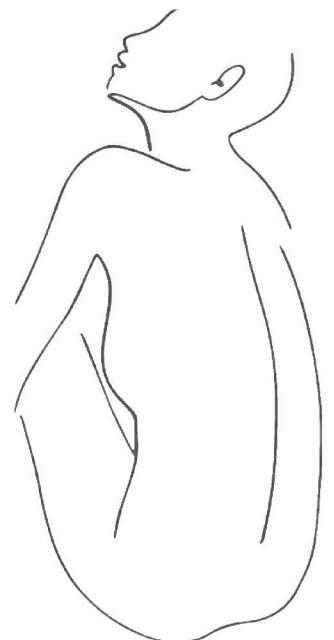


妊娠婦のメンタルヘルスや子どもの人権に関する課題は、自己責任の範囲はどうに超えており、家族や市町村ぐるみで、意識の変容を求められている。



## 解決したい課題

- ・妊産婦の孤独とメンタルヘルス不調
- ・子どもの人権への軽視



コンセプト

あなたらしく  
生きる  
まちづくり

- ・その土地に産まれる命を、その土地に暮らす人々が祝福する文化による人口と出生数の増加
- ・多様な価値観を受け入れるコミュニティの形成により、連帯を実感できるまちづくり
- ・人種を問わず、人を中心に、その真ん中に子どもを置いた社会

わたしたち  
の  
描く未来図



# 当団体の活動

～妊産婦が安らげる場と繋がりを感じられる地域づくり～

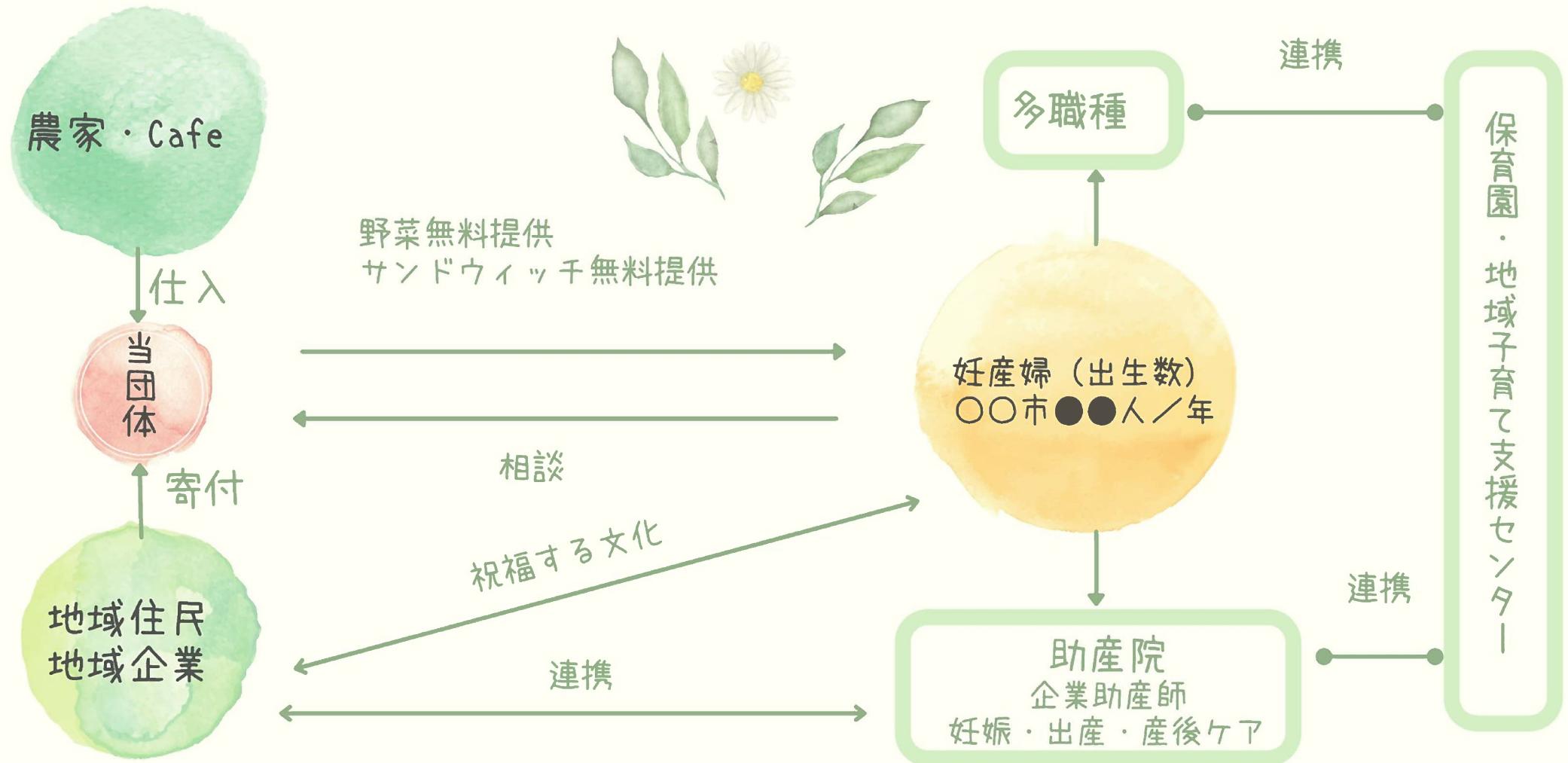
○野菜の無料提供を機会に、妊婦と地域の先輩ママ等との  
繋がりを作る

○上記活動を企業や地域住民へ周知と寄付の募集による  
祝福する文化の醸成

○妊産婦が安心して意見を表明でき、意見交換が行える  
オンラインサロンの開設

○妊産婦や家族の相談内容により、連携先への架け橋となる





妊産婦が安らげる場と繋がりを感じられる地域づくりのイメージ図



# 当団体の連携先

～様々な職種との繋がりからできる地域づくり～

助産師

保育士

栄養士

ママ・  
パパ友

ファイナン  
シャル  
プランナー

地域保健  
センター

フォトグラ  
ファー



私は、子どもたちが「生きるって楽しい」を感じ取れること願っています。

でも、多くの大人が社会でいまを幸せに思っていない。集団において子どもの頃より歳を重ね違和感を覚えているような気がします。

子どもに輝く未来を送ってほしい。そう願う私たちがすべきことは、自分の内なる人に対する愛を信じて、もっと自分を中心生きること。

その体験が、子どもたちを幸せにするのかもしれません。

2016年8月29日、私の第二子の誕生日ですが命日でもあります。私が別れと引き換えに手にしたものはきっとあるでしょう。ただ、この子が彼女のお腹の中にいるあの頃に戻れるのなら、「もっと彼女の心に寄り添っていたい」そう思っています。

後悔より先に、るべき理想から学ぶべきことが見えていたのなら、それは、無知で人を傷つけることがないよう「命の大切さ」だったのかもしれません。

これから誕生するかけがいのない命を、地域のみんなで優しく、そして、温かく迎える。そんな「まちづくり」のコミュニティに参加しませんか。あなたを笑顔にさせてくれる人がいて、あなたの行動を必要としている人たちがいます。

会長 大澤豊

The background features abstract, organic shapes in warm tones of orange, peach, and yellow. A large, solid orange circle is positioned in the upper left, while a smaller, textured orange circle is in the center. To the right, a large, semi-transparent yellow circle overlaps a dark green, textured circle. A cluster of small, light orange dots is located between the central and right circles.

to be continue ...